



広島で「感性サロン」 応用多彩に製品化

中国創研など

基調講演で先行事例を
紹介する長田教授

中国地域創造研究センター(中国創研、会長 平野正樹・中国電力副社長)と産業技術総合研究所中国センターはこのほど「感性サロン」を広島市で開催した。講演者らが感性工学と人間工学を活用した商品開発やサービス向上への取り組みを紹介。115人が参加し、研究者や企業による優良事例を共有した。

基調講演で登壇したのは、センター・オブ・イノベーションプログラム(COIP)「感性とデジタル製造を直結し生活者の創造性を拡張するフューア地球社会創造拠点」サテライトリーダーの長田典子・関西学院大学教授。

長田教授はパトカーなど緊急車両に取り付けられたLED警告灯の視認性向上に携わり、警告灯の回転パターンを変えて事故防止に貢献した話などについて講演した。

続く講演では、TIO総合研究所の大橋隆弘リーダーが少ない水量で従来よりも洗浄感を得られる温水洗浄便座の開発エピソードなどを語った。

サロン終盤には、中国創研が主催する中国地域質感色感研究会の取り組みに関する報告も行われた。熊野化粧筆を生産する瑞穂の丸山長宏社長が、同研究会に参加して肌触りを感性工学に基づいてプロモーションできた経験から、「感性研究は資産になる」と自身の気づきを述べた。

11/26 電気 (5)